

R5年度 横浜市における日本語指導が必要な児童生徒教育・支援

小中学校企画課

1 横浜市における外国籍及び外国につながる児童生徒数（小・中・義務教育学校）

(5月1日現在)※R2のみ7月1日現在

	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)
外国籍・外国につながる	10,103	10,933	11,252	11,303	11,667
外国籍	3,658	4,127	4,386	4,457	4,869
国別					
中国・台湾	2,039	2,376	2,573	2,639	2,915
フィリピン	376	400	409	377	390
ベトナム	237	252	255	283	282
韓国・朝鮮	245	266	261	244	226
ブラジル	143	162	158	151	147
ネパール	49	56	77	83	131
ペルー	87	84	84	81	82
インド	25	30	39	54	62
アメリカ合衆国	41	53	56	50	61
パキスタン	39	41	39	44	51
外国につながる	6,445	6,806	6,866	6,846	6,798

※国籍及びつながる国の総数：117 国

日本語指導が必要	2,705	2,923	3,110	3,297	3,692
----------	-------	-------	-------	-------	-------

※日本国籍、帰国児童生徒含む

2 国際教室担当教員配置校・非常勤講師・外国語補助指導員

○日本語指導が必要な児童生徒への指導を担当する教員を配置する。国際教室を設置し、日本語指導、教科指導、生活適応指導等を行う【H4～】

★配置期間：1年間

★配置目安：日本語指導が必要な児童生徒数に応じて配置。

(H29より配置基準変更。外国につながる児童生徒も含む。)

年度	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)
国際教室担当教員配置校数	142	167	186	194	214
小学校	112	131	147	153	169
中学校	30	36	39	41	45

★R5国際教室設置校(214校)

(小)169校(内 新規校:18校)

生麦小 豊岡小 鶴見小 潮田小 下野谷小 市場小 市場小けやき分校 平安小 末吉小 下末吉小 旭小 東台小 岸谷小 矢向小 入船小 寺尾小 汐入小 馬場小 駒岡小 獅子ヶ谷小 上寺尾小 新鶴見小 三ツ沢小 青木小 幸ヶ谷小 浦島小 子安小 神橋小 西寺尾小 西寺尾第二小 大口台小 神奈川小 羽沢小 南神大寺小 菅田の丘小 東小 稲荷台小 西前小 平沼小 宮谷小 戸部小 一本松小 浅間台小 みなとみらい本町小 本町小 山元小 元街小 北方小 大鳥小 間門小 立野小 本牧南小 本牧小 南吉田小 石川小 中村小 日枝小 藤田小 大岡小 井土ヶ谷小 永田小 南太田小 太田小 南小 藤の木小 永田台小 六つ川西小 永野小 日下小 下永谷小 港南台第三小 富士見台小 帷子小 岩崎小 星川小 仏向小 常盤台小 上星川小 坂本小 瀬戸ヶ谷小 上菅田の丘小 二俣川小 希望ヶ丘小 本宿小 今宿小 東希望ヶ丘小 上白根小 今宿南小 若葉台小 滝頭小 岡村小 磯子小 浜小 杉田小 根岸小 屏風浦小 梅林小 洋光台第一小 さわの里小 洋光台第三小 洋光台第四小 森東小 富岡小 文庫小 六浦小 釜利谷小 西柴小 並木第一小 並木中央小 並木第四小 能見台小 小田小 大綱小 大菅根小 港北小 矢上小 下田小 綱島東小 太尾小 小机小 十日市場小 三保小 竹山小 上山小 中山小 霧が丘(前期) つつじが丘小 榎が丘小 藤が丘小 みたけ台小 美しが丘東小 東市ヶ尾小 あざみ野第二小 恩田小 新石川小 奈良の丘小 勝田小 都田小 荏田小 荏田南小 茅ヶ崎台小 川和東小 南山田小 戸塚小 東戸塚小 大正小 小雀小 柏尾小 川上北小 平戸小 東汲沢小 名瀬小 平戸台小 鳥が丘小 上矢部小 本郷小 飯島小 公田小 上飯田小 飯田北いちよう小 緑園(前期) 原小 瀬谷小 南瀬谷小 二つ橋小 瀬谷第二小 相沢小 瀬谷さくら小 阿久和小

(中)45校(内 新規校:5校)

市場中 矢向中 鶴見中 寺尾中 潮田中 寛政中 神奈川中 浦島島中 六角橋中 西中 老松中 大島中 港中 本牧中 横浜吉田中 平楽中 共進中 藤田中 永田中 藤の木中 笹下中 丸山台中 岩崎中 宮田中 新井中 今宿中 根岸中 岡村中 洋光台第一中 洋光台第二中 森中 金沢中 西柴中 富岡東中 大綱中 中山中 霧が丘(後期) 青葉台中 舞岡中 平戸中 上飯田中 いずみ野中 瀬谷中 東野中 下瀬谷中

○日本語指導が必要な児童生徒が一定数在籍する学校に、在籍数に応じて「日本語指導が必要な児童生徒支援非常勤講師」を配置する【H25～】

○日本語指導が必要な児童生徒が一定数在籍する学校に、「外国語補助指導員」を配置する【H25～】

★R5「外国語補助指導員」配置校(14校)

潮田小、入船小、豊岡小、鶴見小、東小、本町小、元街小、日枝小、南吉田小、滝頭小、飯田北いちよう小、潮田中、横浜吉田中、港中

3 日本語支援拠点施設「ひまわり H29～」「鶴見ひまわり R2～」「都筑ひまわり R4～」

- プレクラス【H29～】: 899名の児童生徒が参加(H29年9月～R5年3月)
外国から、新たに転・編入学してきた児童生徒を対象に、1か月間、週3日の集中的な日本語の初期指導及び学校生活の体験を行う
- 学校ガイダンス【H29～】: 907組の児童生徒・保護者が参加(H29年8月～R5年3月) 外国から、新たに転・編入学してきた児童生徒及びその保護者を対象に、英語、中国語、タガログ語、スペイン語、ポルトガル語、やさしい日本語による日本の学校生活等の紹介及び児童生徒の学習状況確認を行う
- 就学前教室「さくら教室」(「ひまわり」のみ実施)【H29～】: のべ363組の児童・保護者が参加(H29～R4※)
日本語支援が必要な新小学1年生及び保護者を対象に、学校生活の体験と学校生活の紹介を行う。
3月第1、第2土曜日に実施 ※R1年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

4 横浜市日本語教室

- 日本語の初期指導が必要な児童生徒に対して、日本語指導資格をもった講師が指導を行う【S56～】
【集中教室(児童生徒が通級)】 Y校教室、豊岡教室、飯田北いちよう教室、並木第一教室、
横浜吉田教室 月曜日～金曜日・週2回 計40～60コマ
- 【派遣指導(日本語講師を各小学校へ派遣)】 月曜日～金曜日・週1回 計30～55コマ
- 【日本語講師の対応言語内訳】 R5年度:47名(11か国語対応)
中国語(28) 英語(26) スペイン語(9) ポルトガル語(4) 韓国・朝鮮語(5) ドイツ語(2) タイ語(2)
インドネシア語(2) フランス語(1) ベトナム語(2) イタリア語(1) クメール語(1)

★入級者数

年度	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)
合計	560	567	453	385	612
集中教室	142	120	81	74	121
派遣指導	418	447	372	311	491

5 母語支援ボランティア活用事業

- 「母語による初期適応・学習支援」: 対象となる日本語指導が必要な児童生徒へ母語のできるボランティアによる初期適応支援【H20～】・学習支援【H18～】を行う
【配当回数】対象児童生徒1人につき、国際教室のない学校50回まで、国際教室のある学校30回まで
- 「母語による中期放課後等学習支援」: 初期適応・学習支援実施後等の児童生徒へ放課後や長期休業期間中等に、母語のできるボランティアによる補習等の学習支援を行う【R2～】
- 「保護者等通訳支援」: 学校が見つけた母語支援ボランティアによる通訳支援【R2～】

6 学校通訳ボランティア(保護者対応)

- 市立小・中・義務教育学校における転入学の説明、個人面談、入学説明会、家庭訪問等での通訳を行う
- ボランティアの派遣は、公益財団法人横浜市国際交流協会(YOKE)に業務委託【H18～】

★派遣実績(回)

※R2は新型コロナウイルス感染症拡大防止として、派遣内容に大幅な制限を実施

年度	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)
回数	1472	1,607	157	669	939

7 各種ガイドブック等発行(配布・HP等掲載)

- 「ようこそ横浜の学校へ」【H24～】
 - I 日本語指導が必要な児童生徒受入れの手引
 - II 学校通知文・用語対訳集(※対訳あり)
 - III 保護者の方へ～横浜の学校生活～(※対訳あり)
※7か国語対訳(英語、中国語、スペイン語、タガログ語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語、ベトナム語)
- 「横浜市帰国児童生徒教育ガイド」【S56～】
- 「ひまわり練習帳1(清音編)・カード集」【R1～】
- 「ひまわり練習帳2(特殊音編)・カード集」【R3～】
- ※日本語支援拠点施設プレクラス独自教材
- 「ひまわりカリキュラム」(横浜市立小中学校に向け公開)

8 日本語指導者養成講座・日本語指導者養成中級講座・上級講座

- 日本語指導の仕方、日本語指導が必要な児童生徒の受入れと指導等を主題とした教員研修
 - (1) 日本語指導者養成講座【H22～】(全7回、募集人員90名)
○全校対象(国際教室担当1年目の教員は悉皆参加)
 - (2) 日本語指導者養成中級講座【H30～】・上級講座【H29～】(各2回ずつ、募集人員50名と30名)
○中級講座は全校対象、上級講座は主に日本語指導者養成講座を前年度までに修了した教員を対象

9 日本語支援アドバイザー

- 国際教室での経験が豊かな職員が各学校を訪問し日本語指導についてアドバイスや研修等を実施【R3～】
 - (1) 各学校を訪問し、管理職、担当教員等からの相談対応、授業へのアドバイス等
 - (2) 各学校での校内研修等の講師
 - (3) オンラインによる相談会、勉強会の開催 等